

(参考) 観光文化スポーツ部

事業名		食品事業者基盤強化事業		担当	食品工業チーム
事業年度		令和4～	事業主体	県、(公財)あきた企業活性化センター	
事業目的	本県食品製造業における事業活動の中核を担う人材の育成や生産性向上に向けた事業者間連携や先進技術導入等への支援を行うことにより、事業基盤と競争力の強化を図り、賃金水準の向上に寄与する。			財	一般
				源	
				内	
				訳	
実施内容	1 食品産業人材育成事業			2,915千円	
	県内食品製造事業者の生産性向上や営業力強化に必要な講座等を実施し、県内食品製造事業者の人材育成と事業者間連携に向けた意識を醸成し、収益の向上に寄与する。 マネジメント力講座で学んだ知識やノウハウを活用し、消費者ニーズの把握や販路拡大等に係るスキル向上を目的として、県内で販売会を実施し、食品製造事業者の経営力や販売力強化につなげる。 (1) あきた食品事業マネジメント力講座の開催(合計16講座) ①実施内容 マーケティング、販売戦略、製造マネジメント ②開催時期 令和6年7月～10月 ③開催場所 秋田県生涯学習センター (2) 特別講座(出店販売会)の開催 ①開催時期 令和6年10月上旬を予定 ②開催場所 秋田駅周辺 ※I LOVE 秋田産応援フェスタ2024(農業経済課主催)への出店を予定) (3) 受講者へのフォローアップ 訪問等による受講者及び過去受講修了者へのフォローアップを実施				
実施内容	2 食品事業者生産性向上支援事業			1,061千円	
	県内食品製造現場における生産性の向上を図るため、トヨタ自動車東日本(株)(以下「TME J」という。)の協力のもと、改善活動を支援するとともに、その活動を普及啓発する。 (1) TME Jによる訪問及び助言指導 ①実施内容 1回2日間7時間程度×11回(月1～2回) 最終報告会 令和6年11月頃を予定 ②支援対象 1事業者 ③実施主体 (公財)あきた企業活性化センター (2) 改善活動啓発セミナー ①実施内容 TME J担当者の講演の他、前年度支援事業者((株)ジャパン・パックス秋田)の事例紹介 令和6年11月頃を予定 ②実施主体 (公財)あきた企業活性化センター				

事業名	秋田の食をリードする食品事業者支援事業			担当	食品工業チーム
事業年度	令和5～	事業主体	県	当初予算額	59,027 千円
事業目的	売上げ規模20億円以上の事業者を増やすことを主眼とし、県内の食品産業を牽引するリーディングカンパニーを創出するとともに、事業者間連携を促進し、食品事業者の事業基盤と競争力の強化を図る。			財源内訳	諸収入 26 千円
				一般	59,001 千円
実施内容	1 食品事業者連携促進事業				6,119千円
	食品産業施策の総合窓口として伴走コーディネーターを配置し、リーディングカンパニーをはじめとする事業拡大を目指す事業者への伴走支援を実施するとともに、食品事業者の連携を促進する。				
	(1) 伴走コーディネーターの配置				
	伴走コーディネーター(1名)を配置し、食品産業振興に関わる観光文化スポーツ部・農林水産部・産業労働部の3部連携を促進するため、食品産業振興担当次長のもと、各部局で実施している食品産業施策を調整し、その実施をコーディネートする。				
実施内容	2 食のリーディングカンパニー育成支援事業				24,169千円
	経営規模の拡大や生産性及び企業価値の向上に資する取組等に必要な経費を補助する。				
	(1) 補助対象				
	①通常枠(概ね20億円以上の売上規模を目指す事業者:2件)				
実施内容	ア 上限額 1,000万円				
	イ 支援事業者:東北醤油株式会社、株式会社ゆう幸				
	②次世代ユニコーン事業者枠(以下「ユニコーン枠」という。)				
	(概ね10億円以上の売上規模を目指す事業者:1件)				
実施内容	ア 上限額 400万円				
	イ 支援事業者:有限会社御献上カスティーラ				
	(2) 補助率 2/3以内				
	(3) 対象経費				
実施内容	新商品開発経費、販路拡大経費、生産性向上経費 等				
	(4) 交付要件				
	5年間で次の基準を達成する事業計画であること				
	①労働生産性が年平均3%以上増				
実施内容	②給与総額及び初任給の伸び率が年平均1.5%以上増				
	3 デジタルを活用した食のリーディングカンパニー育成支援事業【デジタル田園都市国家構想交付金】28,169千円				
	デジタル技術の積極的な導入による経営規模の拡大や生産性及び企業価値の向上に資する取組等に必要な経費を補助する。				
	(1) 補助対象				
実施内容	①通常枠(概ね20億円以上の売上規模を目指す事業者:2件程度)				
	ア 上限額 1,000万円				
	イ 補助期間:1事業者当たり最長2年間				
	②ユニコーン枠(概ね10億円以上の売上規模を目指す事業者:1件程度)				
実施内容	ア 上限額 400万円				
	イ 補助期間:1事業者当たり最長2年間				
	③デジタル化重点枠(デジタル技術導入への投資を特に重点的に行う事業者:1件程度)				
	ア 上限額 400万円				
実施内容	イ 補助期間:1事業者当たり1年間				
	(2) 補助率 2/3以内				
	(3) 対象経費				
	デジタル関係経費、新商品開発経費、販路拡大経費、生産性向上経費 等				
実施内容	(4) 交付要件				
	5年間で次の基準を達成する事業計画であること				
	①労働生産性が年平均3%以上増				
	②給与総額及び初任給の伸び率が年平均1.5%以上増				
実施内容	通常枠及びユニコーン枠については、事業経費の10%以上を、デジタル化重点枠については、事業経費の50%以上をA I、I o Tなどのデジタル技術導入に投資することを条件				
	4 食品事業者クリエイティブ支援事業				570千円
	(1) 交流会の開催				
	食品事業者同士や異業種との連携・協業の取組を推進するための交流会を開催する。				

事業名	食品産業価格高騰対策事業			担当	食品工業チーム	
事業年度	令和５～	事業主体	県	当初予算額	10,660 千円	
事業目的	原材料等の価格高騰に対応するために県内食品製造事業者が行う商品改良やその販路拡大等に要する経費を助成することにより事業者の収益構造の改善を支援する。			財源内訳	国庫	10,660 千円
実施内容	1 食品産業価格高騰対策事業【物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金】10,660千円					
	原材料等の価格高騰の影響を受ける中でも、成長を目指す食品製造事業者を支援するため、商品改良や販路拡大、及びそれに関連する製造機器・設備購入等に要する経費を補助する。 (１) 補助対象 県内食品製造事業者 (２) 補助率 2／3 以内 (３) 限度額 下限500千円 ～ 上限2,000千円 (４) 採択件数 5 件程度（予算額合計10,000千円） (５) 対象経費 原材料コストの抑制や品質を維持・向上させる加工技術の開発等による商品の付加価値向上や収益率向上に係る費用 (例) パッケージの材料や内容量の変更、小分け商品化 商品開発等に当たっての指導・コンサル 製造機器・設備の購入（設置工事費含む） 展示商談会ブース出展 など					

事業名	資源循環型酒造りモデル実証事業			担当	まるごと売込みチーム
事業年度	令和4～	事業主体	県	当初予算額	3,629 千円
事業目的	清酒製造の工程で発生する酒粕等の副産物を活用した酒づくりの実証により、地域の資源循環により醸造された清酒のブランド化を図る。			財源内訳	1,713 千円
実施内容	1 資源循環型酒造りモデル実証事業【デジタル田園都市国家構想交付金】 清酒造りの過程で発生する酒粕等を原料とした肥料、堆肥による酒米の栽培実証と、清酒の試験醸造を行う。 (1) 委託先 ㈱秋田清酒（大仙市・酒粕肥料）、栗林酒造店（美郷町・酒粕堆肥） (2) 委託期間 令和6年4月～令和7年2月 (3) 委託内容 酒粕を使用した肥料、堆肥による酒米栽培実証、清酒の試験醸造			諸収入	1 千円
				一般	1,915 千円

事業名		アンテナショップ運営事業		担当	調整・食品振興チーム	
事業年度		平成23～	事業主体	県	当初予算額	
事業目的	東京と福岡のアンテナショップの情報発信機能の充実や県産品の販売拡大を図るため、店舗を利用したイベント等を開催する。				財	諸収入
					源	一 般
					内	
					訳	
実施内容	1 東京アンテナショップ運営事業				53,081千円	
	(1) 店舗賃料 (2) アンテナショップの運営強化 ①運営協議会への参加（2か月に1回） ②衛生管理講習会（年4回） ③店舗改善講習会（年2回） (3) アンテナ機能の充実強化 ①客層の拡大や来場者を増大させるためのイベントの開催 ア 季節の物産・観光PRイベント 夏祭り、収穫祭、冬祭り、周年祭（令和6年9月、10月、令和7年2月、3月） イ 京急あきたフェア連動イベント（令和6年10月～11月） ウ あきた美彩館企画事業（令和6年11月～12月） 秋田の「食」「物産」「観光」の情報発信とあきた美彩館への誘客促進のため、企画事業を実施 ②店舗サイン掲出広告 (4) 店舗維持・修繕					
実施内容	2 福岡アンテナショップ運営事業				944千円	
	(1) アンテナショップの運営強化 (2) アンテナ機能充実強化 試飲販売会の開催や県産酒頒布会の実施等					

事業名	秋田の食ビジネスチャンス拡大事業			担 当	まるごと売込みチーム
事業年度	平成30～	事業主体	県	当初予算額	11,648 千円
事業目的	県産食材を一堂に集めた「県産食材マッチング商談会」や、新たな特産品の開発をPRする「あきた食のチャンピオンシップ」を開催し、全国の食品バイヤー企業とのマッチング機会を創出する。			財 一 般	11,648 千円
				源	
				内	
				訳	
実施内容	1 県産品ビジネスチャンス拡大事業				9,595千円
	県内最大級の“食”の商談会を開催し、全国の食品バイヤー企業とのマッチング機会を創出し販路拡大を図る。 (1) 開催時期 令和6年7月11日 展示商談、予約個別商談 (2) 開催場所 秋田テルサ（秋田市） (3) 出展者数 90社 (4) 来場目標 食品バイヤー企業 200社（百貨店・量販店、ほか小売店、卸流通、ホテル飲食店関係）				
実施内容	2 あきた食のチャンピオンシップ開催事業				2,053千円
	「あきた食のチャンピオンシップ2024（第44回特産品開発コンクール）」を開催し、新たな秋田の顔となる商品を選考し、受賞商品の販路拡大を図る。 (1) 募集期間 令和6年4月下旬～5月 (2) 審査委員会 令和6年6月中旬 (3) 表彰状授与 令和6年6月下旬 (4) 募集部門 加工品部門、菓子・飲料部門の2部門 (5) 受賞内訳 総合グランプリ 両部門合わせた全体から1点 部門金賞 各部門から1点（計2点） 奨励賞 両部門合わせた全体から3点 若手奨励賞 各部門から1点（計2点）				

事業名	あきたの食プラットフォーム構築事業			担当	まるごと売込みチーム
事業年度	令和6～8	事業主体	県	当初予算額	24,196 千円
事業目的	県内外の食品バイヤー及び消費者の多様なニーズに対応するため、県内食品事業者とその商品のほか、バイヤーや消費者の情報等の集約と活用を進めるプラットフォームを構築し、県産加工食品の販路拡大を支援する。			財源	一般
				諸収入	24,170 千円
					26 千円
実施内容	1 あきたの食情報基盤構築事業【デジタル田園都市国家構想交付金】			10,829千円	
	県内食品事業者とその商品、食品バイヤー及び消費者ニーズに関する情報を収集し、データベースを構築するとともに、ニーズに対応したマッチングを行う。 (1) データベースの構築 食品関係事業者及び消費者向けの情報基盤を整備するため、県内食品事業者及び商品情報を一元化するデータベースを構築する。 ①委託内容 データベース構築 ②委託期間 令和6年5月～令和7年3月 ③工程（予定） 1年目：データベース構築（PC用ウェブサイト进行令和7年1月公開目標） 2年目：デジタル技術を活用したマッチング機能構築 3年目：販売データの分析による商品開発支援 ④委託先 企画提案競技により選定 ⑤登録目標 3年で230社（1年目150社、2年目40社、3年目40社） (2) デジタル活用推進スタッフの配置 県内食品事業者の商品や加工技術の情報収集とデータベースへの登録を推進するため、食品にかかる専門知識を有する人材を配置する。 ①配置場所 総合食品研究センターに1名を配置 ②活動内容 ア 食品事業者及び商品等の情報を収集、並びにデータベースへの登録推進 イ バイヤーのニーズによりマッチングを実施				
実施内容	2 カスタマーデータ活用事業【デジタル田園都市国家構想交付金】			13,367千円	
	データベースを活用した情報発信やマッチングを行うため、食品バイヤーや消費者に関するデータの収集と蓄積を行う。 (1) 首都圏、関西等の展示商談会等を活用したデータ収集及び販路開拓 出展を予定している展示商談会 ①グッドライフフェア（10月） ②スーパーマーケット・トレードショー2025（2月） ③加藤産業展示会 (2) クルーズツアー造成企業等を対象としたインバウンド向け食の体験型コンテンツモニター事業 県産食材を使用したお弁当作り体験等を想定 (3) 専門家によるデジタルを活用した販路拡大に向けた個別指導 ①県外専門家2名×3回 ②県内専門家1名×3回				

事業名	オール秋田で世界へ挑戦！産学官連携輸出促進プロジェクト			担 当	調整・食品振興チーム
事業年度	令和4～6	事業主体	県、民間事業者	当初予算額	32,499 千円
事業目的	地域商社等と連携し、県産食品の海外への商流・物流を構築するとともに、現地展示会への出展等を通じ、県産食品の認知度向上と輸出促進を図る。			財 源	9,593 千円
				内 一 般	22,906 千円
				内 訳	
実施内容	1 地域商社と連携した共同配送事業 13,381千円				
	(1) 台湾				
	①台湾現地コーディネーターによる販路開拓				
	②県産品フェアの開催				
	③現地展示会への出展				
	④県内地域商社の育成を志向した共同配送による輸出				
	(2) 中国				
	①中国ECサイトへの商品掲載				
	②現地試飲試食・販売会の開催				
	2 大学等と連携した欧州向けブランディング事業 17,715千円				
	(1) フランス				
	①国際食品見本市への出展				
	(2) フィンランド				
	①現地食品展示会の開催				
	3 北東北三県・北海道ソウル事務所物産共同事業 1,403千円				
	(1) 韓国				
	①輸入商品展示会への出展				
	②パイヤー招へいによる商談会の実施				

事業名	旨し国Akita誘客促進事業			担 当	調整・食品振興チーム
事業年度	令和5～6	事業主体	県、民間事業者等	当初予算額	297 千円
事業目的	本県の食の魅力を発信し、観光誘客につなげるとともに、食の観光資源化を推進し、本県の食を求めて訪れた観光客の満足度や再訪意欲の向上を狙う。			財 源	297 千円
				内 一 般	
				内 訳	
実施内容	1 食の周遊化促進事業 154千円				
	(1) 食の周遊化誘客戦略会議				
	食や観光に関わる有識者を招集し、食の周遊化促進に係る意見交換を行う。				
	(2) Webサイト「本日あきた発酵中。」の保守・運用 143千円				
	秋田の食と観光を一体的に情報発信するためのWebサイト「本日あきた発酵中。」の保守・運用を行う。				

事業名	絶品AKITAプロモーション事業			担 当	まるごと売込みチーム
事業年度	令和6	事業主体	県、民間事業者	当初予算額	3,569 千円
事業目的	首都圏等の消費者に秋田の食の魅力を体験してもらい、県産食材の需要拡大及び認知度向上を図る。			財 源	3,569 千円
				内 一 般	
				内 訳	
実施内容	1 絶品AKITAフェア開催事業【デジタル田園都市国家構想交付金】				
	県産品の消費拡大と認知度向上を目的に、首都圏等の量販店・飲食店による秋田県フェアを開催し、県産品のPRを行う。				
	(1) 首都圏量販店で実施される県産品フェアの支援				
	①実施場所 首都圏の量販店等 2社程度				
	②内 容 広告費等の協賛、販売スタッフの派遣、啓発資材等の貸与等				
	(2) 首都圏飲食チェーンでの秋田メニューの提供				
	①実施内容 秋田メニューの提供意欲のある飲食店等 1社程度				
	②内 容 県産食材の斡旋、広告費等の協賛、啓発資材の貸与等				

令和6年度総合食品研究センター職員数及び試験研究課題

1 総合食品研究センター職員数

場 所 名	総 数	内 訳		
		事 務	技 術	現 業
総合食品研究センター 企画管理室	10	4	6	0
総合食品研究センター 食品加工研究所	8	0	8	0
総合食品研究センター 醸造試験場	10	0	10	0
計	28	4	24	0

2 令和6年度 試験研究課題

課 題	研究期間	予算区分
(政策研究)		
1 生産地加工における農林水産物の高付加価値化	令4～6	県
2 花卉の食品利用技術開発	令5～7	県
3 新規麹菌を用いた新たな秋田オリジナル甘酒の開発	令4～6	県
4 輸出向け発酵調味料の開発	令5～6	国・県
5 新しい生活様式に対応した低アルコール及び複合型アルコール飲料の開発	令4～6	県
6 秋田県産清酒の販路拡大に向けた海外市場向け清酒に関する調査	令6～7	国・県
7 ライフステージに応じた機能性食品の開発	令4～6	県
8 網羅的解析データを活用した県産食材・素材の競争力強化手法の開発	令6～8	県
9 発酵特性デザインを可能とする味噌用酵母育種技術の検討	令6	県